

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）

令和 年 月 日 策定

1. 生活交通改善事業計画の名称					
令和7年度〇〇ノンステップバス導入事業計画					
2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性					
〇〇地域公共交通計画では、基本方針に「誰もが移動しやすい公共交通」を掲げ、多様なニーズに対応する交通環境の整備を進めていくこととしている。 そこで、誰もが安全で安心して移動できる公共交通環境を実現することを目的として、子どもから高齢者まで、また、障がい者や妊婦、ベビーカー使用者等の容易な乗降を可能とするノンステップバスの導入を促進する。					
3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果					
(1) 事業の目標					
バリアフリー法に基づき、国土交通省から「移動等円滑化の促進に関する基本方針」において示された目標に向け、〇内に営業所を有するバス事業者におけるノンステップバス導入率を段階的に上げるため、ノンステップバスの積極的な導入を推進する。					
(2) 事業の効果					
ノンステップバスの導入により、子どもから高齢者まで、また、障がい者や妊婦、ベビーカー使用者等の容易な乗降が実現することで、通院や買い物等のための移動における負担が軽減され、誰もが移動しやすい社会の実現につながる。 また、公共交通機関の利用環境が改善されることで、バス利用者の増加に寄与する。					
4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者					
事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）					
(内容) ・ノンステップバスの導入 大型1台：ライフバス株式会社					
5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額					
令和7年度 ※令和6年度補正予算による対応含む					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
ノンステップバスの導入	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇千円	〇〇〇〇千円	〇〇〇千円	〇〇〇〇千円
	100%	〇%	〇%	〇%	〇%
※国費、都道府県負担割合については、予算の都合等により増減する可能性がある					

6. 計画期間				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。 「●」は、年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載				
事業の名称	令和7年度			
	4月	6月	9月	12月 3月
ノンステップバスの導入		交付決定日 以降着手		2月27日 完了

7. 協議会の開催状況と主な議論
- 令和●年●月●日 事業内容について協議。結果～ - 令和●年●月●日から令和●年●月●日 - 令和●年●月●日意見募集の結果を踏まえ、計画を策定。（予定）

8. 利用者等の意見の反映
令和●年●月●日から令和●年●月●日にホームページにて本計画に関する意見を募集。

9. 協議会メンバーの構成員	

10. 軽微な変更の取扱いについて